

URGCC-Advancedマトリクス

【大学院教育プログラム学習教育目標とURGCC-Advanced学習教育目標との対応関係】

		数理科学教育プログラム		
		専門性	創造性	倫理性
URGCC-Advanced学習教育目標		専門分野に関する高度な知識、技能、思考法を体系的に身に付ける。	知識、技能、思考を独創的・創造的に発展させ、活用することができる。	高度な倫理性を身に付けるとともに、社会的責任の熟慮を欠かすことなく、主体的に行動することができる。
大学院教育プログラム学習教育目標	数理科学の分野で、現代社会に貢献できる高度な専門知識及び能力をもつ人材の養成を目的としています。そこで、次の知識・能力を身に付けたうえで、所定の単位を修得し、かつ、修士論文の審査及び試験に合格した者に対して、学位を授与する。 (1) 数理科学の理論を定理や証明・例を通して理解して、論理的に正しく説明する能力 (2) 研究課題を見出し、様々な角度から課題に取り組み、また、理論を構築する能力 (3) 数理科学の専門知識を社会の様々な場面で応用する能力	○	○	○
		(URGCC-Advanced学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由) 数理科学の理論を定理や証明・例を通して理解して、論理的に正しく説明する能力を修得することで、高度な知識、技能、思考法である「専門性」を身に付ける。数理科学の研究課題を見出し、多様な角度から課題に取り組み、理論を構築する能力を修得することで、自らの力で思考を発展させる「創造性」を身に付ける。数理科学の専門知識を社会での需要の多い様々な場面で応用する能力を修得することで、社会的責任の熟慮を欠くことのない「倫理性」を身に付ける。		